

第1221号

AFN-1221

Timely

1994年1月17日創刊 毎週発行
葵総合経営センターだより週刊版

H30. 6 / 11 (月)

『17年分確定申告書提出は2197万7千人 「セルフメディ税制」の適用者2.6万人』

国税庁の2017年分所得税等の確定申告状況によると、同年分の所得税等の確定申告書提出人員は前年分から1.3%増加の2197万7千人となり、3年連続で微増が続く状況が分かった。

確定申告書を提出した人員のうち、申告納税額のあるもの(納税人員)は、640万8千人と前年分と比べ0.6%増えた。その所得金額は、3.4%増の41兆4,298億円、申告納税額も4.6%増の3兆2,037億円となり、所得金額は2008年分以降で、申告納税額は1998年分以降で最高となるなど、景気の上向きによる雇用の改善の影響もうかがえる。

確定申告書を提出した人員のうち、還付申告者数も前年分に引き続いて増加となる1,283万人。このうち適用者が最も多い医療費控除には、同年度も749万人で還付申告者数の58%を占めている。

医療費控除では新制度として、健康の増進等の一定の取り組みを行うものがスイッチOTC医薬品を購入した場合に所得控除が受けられる「セルフメディケーション税制」が今回申告分から始まったが、同特例の適用者数は2万6千人となっている。

なお、2016年分の確定申告からマイナンバーの記載が必要となったが、2年目となる2017年分の所得税等の確定申告書への記載率は83.5%と前年度から0.6ポイントの微増にとどまった。このほか、ビットコインなどの仮想通貨取引による収入金額を含む雑所得の収入が1億円を超えた者は、少なくとも331人いたことも明らかになっている。

『大学生の就職率98.0%調査開始以降最高に』

厚生労働省と文部科学省は、平成30年3月大学等卒業予定者の就職状況を共同で調査し、同年4月1日現在の状況を発表した。大学生の就職率は98.0%(前年同期比0.4%増)となり、調査を開始した平成9年以降、過去最高となった。景気の回復や企業の採用意欲の向上が寄与したようだ。短期大学99.1%(同2.1%増)、高等専門学校100%(同変わらず)、専修学校(専門課程)94.7%(同1.4%減)となり、いずれも高い就職率を記録した。高等専門学校は7年連続で就職率100%を達成している。男女別では、男子大学生の就職率は97.5%(同0.6%増)、女子大学生は98.6%(同0.2%増)となった。

両省では、新卒者等の就職支援を専門に行う「新卒応援ハローワーク」に配置されたジョブサポーター(キャリアコンサルタントや企業の人事労務管理経験者を中心とした就職支援相談員)と大学等の就職相談員が連携して就職を支援する取り組みなどを積極的に行っており、高い就職率はその効果が反映されたものと思われる。

なお、大学生のうち文系と理系をみると、調査開始後常に理系の就職率は文系を上回っていたが、今回はじめて逆転(文系98.2%、理系97.2%)している。



出典元: 日本中小企業経営支援専門家協会(JPBM) ※本記事・内容の無断転載を禁じます

21世紀を創造する中小企業のベストパートナー

〒460-0012 名古屋市中区千代田三丁目14番22号

葵総合経営センター

(葵総合税理士法人)

TEL : (052) 331-1768 FAX : (052) 332-5282

『Homepage』 <http://www.aoi-cms.com/> 『e-mail』 aoi@aoi-cms.com